

<平成24年5月>

三鷹市議会議員 渥美 典尚

あつみのりひさ NEWS



三鷹市議会議員
あつみのりひさ
渥美 典尚



連絡先：〒181-0004 三鷹市新川4-24-7 あつみのりひさ と歩む会
電話：0422-48-6338 FAX：0422-48-6338
HP「あつみのりひさ」と検索！ atsuminorihisa@gmail.com

2月29日から3月29日まで平成24年第1回定例会(3月議会)が開催されました。

今回の議会での大きな議案として平成24年度の予算が提案され審議されました。

詳細は、広報みたか、みたか議会だより、市議会ホームページなどをご覧ください。

平成24年度三鷹市予算について

3月議会において、平成24年度の三鷹市予算が決定しました。

今回の予算編成の特徴としては、新たに作成された「第4次基本計画」に沿うよう位置付けられています。東日本大震災を教訓とした「危機管理」と「都市再生」、より強固な共助を目指す「コミュニティ創生」の三つです。

◆「一般会計」の予算額は、669億2,205万円5千円で、前年比では19億3,493万8千円、3.0%の増となりました。

本年度も生活保護費や障がい者自立支援給付費などセーフティネットに関わる経費の増加が続くものと見込まれています。また、「都市再生」の観点から、新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の整備、三鷹公会堂の耐震と改装工事及び公会堂別館の建て替え、第三小学校の建て替えなどに取り組んでいます。

また、待機児童解消に向けた私立保育園整備などに伴う定数の大幅な増により運営費補助の増額等が見込まれます。

◆一般会計予算とは別に「特別会計」の予

算があります。これらには「国民健康保険事業」、「下水道事業」、「介護サービス事業」、「後期高齢者医療」があります。

特別会計予算は、355億1,349万2千円で、前年比では12億4,100万8千円、3.4%の減となりました。これは水道事業を東京都に移管し、三鷹市での扱いがなくなったことによるものですが、「国保」「下水」「後期高齢」の事業については予算規模が拡大するものと見込まれています。

◆三鷹市独自の財源・市税収入は、336億8,516万1千円で、前年比では6,307万7千円、0.2%の減となっています。個人市民税は前年と同程度を、法人市民税や市たばこ税は増収が見込まれています。一方で評価替えによる固定資産税の減が見込まれ、全体では前年度よりも微減が見込まれているものです。

◆.....◆

◆三鷹市の市税収入は比較的安定しているといえますが、潤沢ではありません。国や都からの交付金・支出金もどこまで確実なのか分からない部分があります。老朽化や耐震性に劣る施設の対策も進めていかななくてはなりません。市においても大変な予算編成作業をした様子が随所にみられます。

昨今の経済状態では緊縮財政は続くものとみられ、市民の理解と協力は欠かせないものと考えます。



◆平成 24 年度三鷹市予算主な項目一覧◆

人口約 17.7 万 一般会計約 669 億円

歳出の主な項目	円
民生費（福祉、生活保護等）	296 億 9 千万
土木費（道路、再開発等）	54 億 1 千万
教育費（学校関連、図書館等）	69 億 9 千万
総務費（役所運営、安全安心）	123 億 6 千万
衛生費（ゴミ処理・防疫等）	44 億 8 千万
消防費（消防負担金・防災）	22 億 4 千万
公債費（市債の返済）	44 億 21 千万

歳入の主な項目	円
市税（市民税、固定資産税等）	336 億 8 千万
交付金（国・都、用途指定なし）	28 億 8 千万
国庫支出金（用途限定）	95 億 8 千万
都支出金（用途限定）	69 億 2 千万
繰入金（貯金の取り崩し）	15 億 5 千万
市債（建設費等の借入れ）	64 億 7 千万
使用料等（手数料、保育料等）	17 億 1 千万

◆.....◆
平成 24 年第 1 回定例会にて

市政に関する一般質問をしました。

◆三鷹市議会 3 月議会にて、市政に関する一般質問を行いました。これで渥美典尚の一般質問回数は連続計 20 回となりました

高齢化を控えた将来のまちづくりについて

三鷹市でも高齢化と生産年齢人口の減少が起きています。今後も生産年齢世代の方々に選ばれ続けるまちであるために新たな施策が求められます。住宅の新陳代謝も課題です。そこで自治体主導の空き家の借上げ・又貸しシステムや、持ち家を担保にした融資制度の活用を検討するよう提言しました。

また、年金未払いにより将来、未年金者にならないよう、義務教育課程における年金教育の充実を求めました。

「新川宿ふれあい通り」が開通。

一小南側の旧吉祥寺通りが東京都から三鷹市へ移管されるにあたり整備され、新川宿ふれあい通りとして 3 月末に開通しました。これは「新川宿まちづくり協議会」が、抜け道にならない、より安全な通学路・生活道路にするために約 4 年の協議を重ね、地域住民意見の集大成として実現されたものです。抜け道は概して通過車両の速度が速く、各地で悲劇が起きています。悲惨な交通事故に巻き込まれないようにするためにも、抜け道方向とは逆向きの一方通行化は有効だと考えます。渥美典尚は平成 19 年 12 月議会において、生活道路の抜け道対策として一方通行化推進を提言した経緯があり、この道路開発は当を得た取り組みであると考えます。

◆.....◆
ますます便利！「みたかシティバス」新川・中原ルートが開通しました。

3 月 25 日、新たな路線、新川・中原ルートが開通しました。これは、杏林大学病院と京王線つつじヶ丘駅を結ぶ路線で、バスに不便していた中原エリアでは長らく待望されていたルートです。大いにご利用ください！

=杏林大学病院での開通式の様子=



手作り・簡易印刷の活動報告です。
印刷の品質はご容赦ください。